

さいたま市文化財時報

かや
榎りぼーと

第87号

田島ヶ原サクラソウ自生地
特別天然記念物指定70年 その3

前々号(85号)、前号(86号)に引き続き、田島ヶ原サクラソウ自生地が国の特別天然記念物に指定されて70年を迎えたことを記念して、本号でも田島ヶ原サクラソウ自生地について取り上げます。

田島ヶ原サクラソウ自生地は、日本で天然記念物を保護する制度ができてから最初に指定された天然記念物の一つです。大正9年に天然記念物指定されてから今年で102年が経ち、長い間地域の方々を中心に守られてきた、さいたま市が誇る大変貴重な場所です。

約250種類の植物が自生する自然豊かな田島ヶ原サクラソウ自生地をより多くの市民の方々に知っていただくため、また、より身近に感じていただくため、今年実施した普及啓発活動の一部を紹介します。

①パネル展示

令和4年2月8日(火)から2月27日(日)

桜図書館2階展示スペース

令和4年11月13日(日)

シーノ大宮10階多目的ホール ほか

田島ヶ原サクラソウ自生地の特別天然記念物指定70周年を記念したパネル展示を実施しました。所在する桜区だけではなく、11月には大宮区で実施した「生涯学習フェスティバル」の会場内でも展示を行い、多くの市民の皆様にご覧いただきました。



▲生涯学習フェスティバルでの展示の様子

② 小学校への出張授業

令和4年11月8日(火) さいたま市立新開小学校

田島ヶ原サクラソウ自生地にはほど近い、桜区新開に所在する新開小学校4年生の全児童を対象に、自生地やサクラソウについて学習するための出張授業を実施しました。

皆、熱心に耳を傾けて、説明を聞いていただく中、「サクラソウが愛されている理由について」など様々な質問にお答えしました。学校での授業を通じ、地域のこと、そして田島ヶ原サクラソウ自生地をより知ってもらおう機会となりました。



▲授業の様子

③ 市民講座への職員派遣

令和4年2月19日(土) 大久保東公民館

公民館で実施された「サクラソウの育て方講座」において、田島ヶ原サクラソウ自生地について解説を行いました。本講座は地域の歴史的側面と園芸植物としての側面という異なる側面から、サクラソウについて学ぶ内容でした。

サクラソウの育て方については、植物に関する有識者が招かれており、2部構成で実施されました。



▲講座で使用した資料

④ ホームページでの情報発信

さいたま市のホームページでは、田島ヶ原サクラソウ自生地について、様々な情報を発信しています。

春のサクラソウ開花状況や推定生育個体数調査の結果報告、冬の草焼きについての情報はよりタイムリーな発信を心がけています。

また、サクラソウ自生地に関する各種パンフレットの掲載や国指定100年を記念した特設ページの開設など、田島ヶ原サクラソウ自生地についての情報が手軽に得られる内容となっています。

田島ヶ原サクラソウ自生地の情報はこちら



▲サクラソウの開花状況をお知らせするページ

✿サクラソウについての豆知識

サクラソウの世界進出(サクラソウが西洋世界に紹介された歴史)

○サクラソウの学名

サクラソウの学名は、*Primula sieboldii* E. Morren です。学名とは、生物学で用いられる世界共通の名前で、その種が所属する属を示す「属名」と、種固有の名前の「種小名」の二つで記述する二名法という方式で名づけられています。サクラソウの場合、“*Primula*”が属名で、“*sieboldii*”が種小名です。“E. Morren”は学名の命名者を示します。

学名は、現在は日本から発表されることも普通ですが、かつては、西洋の学者によって日本を含めた世界中の生物が西洋に紹介され、学名で分類されていきました。

●原記載論文

では、サクラソウは、どのように西洋に紹介されていったのでしょうか？

学名は、原記載論文という形で発表され、命名の基準となった標本や図が引用されます。

1873年(日本は明治6年)のサクラソウの原記載論文は、野生のものではなく西洋で栽培されていたものを基準に書かれました。つまり、当時、すでに西洋ではサクラソウが紹介、栽培されていたことが分かります。しかし、当時は *P. cortusoides* L. という種類と混同されていて、モレンは1862年にシーボルトによって日本からヨーロッパにもたらされたものが新種、すなわちサクラソウであるとして、シーボルトにちなんだ名前である、*P. sieboldii* E. Morren が与えられました。

○サクラソウを研究した日本植物研究初期の学者たち

このように、原記載論文ではシーボルトが紹介したことが述べられていますが、それ以前にもサクラソウを西洋に紹介した学者はいたようです。

1784年(日本は天明3～4年)に日本植物誌を著したトゥンベリイはサクラソウを *P. cortusoides* L. として紹介し、標本も残っています。また、さらに前の1712年(日本は正徳2年)に『廻国奇観』を著したケンペルも著書の中ではサクラソウに言及していないものの、コレクションにサクラソウの標本が残っています。

トゥンベリイやケンペルといった植物学者は、日本の植物を初めて紹介した学者として知られており、日本の植物研究の初期にサクラソウは認識されていたことが分かります。

これら、日本の植物を西洋に紹介した初期の学者たちは、鎖国の中で、不自由な研究環境であったと考えられますが、サクラソウを研究できたのは、当時は身近に生息または、栽培されていたからではないかと思われます。日本を海外に紹介した学者の足跡から、日本人とサクラソウの結びつきを窺い知れるのかもしれませんが。



▲原記載論文の図
野生のサクラソウとは異なる
見た目をしている

参考文献

- Kaempfer E. (1712) *Amoenitatum exoticarum politico-physico-mediciarum fasciculi V: quibus continentur variae relationes, observationes & descriptiones Rerum Persicarum & Ulterioris Asiae, multâ attentione, in peregrinationibus per universum Orientem, collectae* Lemgo: Typis & Impensis Henrici Wilhelmi Meyeri, Aulæ Lippiacæ Typographi
- Morren E. (1873) Notice sur le *Primula Sieboldi* Ed. Mn. var. *Lilacina* ou *primevère* de Siebold. *Belgique horticole* vol.23 pp.97-101
- Thunberg C. P. (1784) *Flora Japonica*. Leipzig: In Bibliopolio I. G. Mülleriano.

参考 URL

Natural history museum data portal n.d. <https://datanhm.ac.uk/dataset/56e711e6-c847-4f99-915a-6894bb5c5dea/resource/05ff2255-c38a-40c9-b657-4ccb55ab2feb/record/4708458> (2022年12月1日)

国立科学博物館植物研究部及びウプサラ大学進化博物館 (2015) Thunberg's Japanese Plants トゥンベリイ日本産植物コレクション <http://cpthunberg.ebc.uu.se/specimens/4180> (2022年12月1日)

TOPICS

●国指定史跡「真福寺貝塚」発掘調査現地見学会を開催しました

日時 令和4年9月23日(金(祝))

1回目 10時から11時30分 2回目 13時30分から15時

場所 史跡真福寺貝塚(岩槻区城南三丁目949番地付近)

内容 史跡真福寺貝塚の整備に向け、史跡指定地内の発掘調査の取組みを始めてから今年度で7年目になります。今回の見学会では、泥炭層に向かう斜面に幾重にも折り重なる土の層とそこに介在する土器のまとまりや斜面際に形成された貝塚などについて、調査担当者が解説を行いました。

参加者 150人



▲見学会の様子



▲土器のまとまり

お知らせ

□国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」で草焼きを実施します

日時 令和5年1月11日(水)9時頃から16時頃まで

※天候により、翌日以降に延期になる場合があります。

※実施中に天候が変化した場合、中断して翌日以降に再実施することがあります。

場所 田島ヶ原サクラソウ自生地

(桜草公園内(桜区大字田島付近))

内容 田島ヶ原サクラソウ自生地では毎年1月にオギやヨシ等の枯草を焼却する草焼きを実施しています。枯草を焼くことによって地面に陽光があたり、サクラソウの芽吹きを助けます。

草焼きの情報はこちら



▲昨年の草焼きの様子

さいたま市文化財時報

榎りぼーと

第87号

令和4年12月23日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会事務局 生涯学習部 文化財保護課

☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号

☎048-829-1723 ㊚048-829-1989

<https://www.city.saitama.jp/>